

言語聴覚士科 3つのポリシー

ディプロマポリシー(卒業までに身に付けるべき資質)

建学の理念に基づき専門職業人として必要となる知識・技術・態度、考え方をもち、社会に貢献できる人材を養成します。

1. 言語聴覚士として必要な知識・技術を身に付け国家資格を取得する。
2. リハビリ業界との連携(実習)により、職業人・業界人・医療人としての人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身に付ける。
3. リハビリチームで働く上で必要となるコミュニケーション能力を有し、チーム(他職種)で連携、協働できる能力を身に付ける。
4. 向上心と探究心を持ち、自ら学ぶ姿勢と自己の課題を発見し、解決する力を能動的に取り組む力を有している。
5. 他者や異文化に対する理解を深め、広い視野を備えた国際感覚を身に付けている。

カリキュラムポリシー(教育課程の編成、実施方針)

専門職業教育とキャリア教育を体系的に一体化した職業人教育カリキュラムと国際感覚を身に付ける国際教育カリキュラムを提供します。

また、科目群は基礎科目群、専門基礎分野科目群、専門分野科目群に大きく分類し、それぞれの科目内容の持つ教育的な性格、位置づけを明確にします。

1. 病院・施設等による実習を重視したカリキュラムを提供する。
2. 専門基礎知識・技術を身に付けるプログラムを提供する。
3. グローバル化の中、国際人としての基礎プログラムを提供する。
4. 「**基礎科目群**」は自分の適正を把握し、「目的意識」持って学習に取り組む姿勢の修得、学習へのモチベーションを向上する科目群として編成する。
「**基礎専門科目群**」は言語聴覚士としてプロに必要な態度、思考、倫理と基礎となる専門知識・技術を身に付け、知識・技術はもちろん、職業人として疑問や課題について考えを深めていく科目群とする。
「**専門分野科目群**」は言語聴覚士に必要な専門知識・技術を基に考え、応用を含めより実践的に学ぶプログラム群となる。また、実際の現場での実習体験を通して技術、知識の向上を図る。
5. 成績評価は、科目の特性に応じて、適切かつ多様な評価方法と基準を設ける。

アドミッションポリシー(求める人材像)

言語聴覚士科で学ぶことを強く望み、資格取得や専門就職に向けて、強い意欲を持って取り組むことのできる以下の人材を受け入れます。

1. 言語聴覚士を目指す者として使命と責任を自覚し、自然、生命、人間に対して敬愛の念を持ち、人間尊重の精神と豊かな人間性を持つ人。
2. 必要な専門的知識と技術・態度を修得し、社会の変化に応じ自己研鑽・生涯学習に努め、言語聴覚士として心身ともに健全で社会に貢献することを目指す人。